

令和4年度 学校経営方針

宇部市立厚南中学校

1 学校教育目標

「心豊かで、自ら学び、夢に向かってたくましく生き抜く子どもの育成」

校訓：『友愛（思いやる心）・自立（責任ある行動）・飛躍（個と集団が伸びる学校）』

2 学校経営の基調

- (1) 一人ひとりの思いや願いを認め合い、高め合う集団づくりを推進し、豊かな人間関係を育む人権教育と特別支援教育の充実に努める。
- (2) 開発的・予防的な生徒指導の推進を学校教育の基盤とし、望ましい集団活動を通して、生徒の自己存在感を高め、自己指導能力を育むとともに、規範意識の醸成に努める。
- (3) コミュニティ・スクールとして、「学校支援」「学校運営」「地域貢献」の3つの機能を高め、地域の学校として教育を展開することで、地域とともにある信頼される学校づくりを推進する。

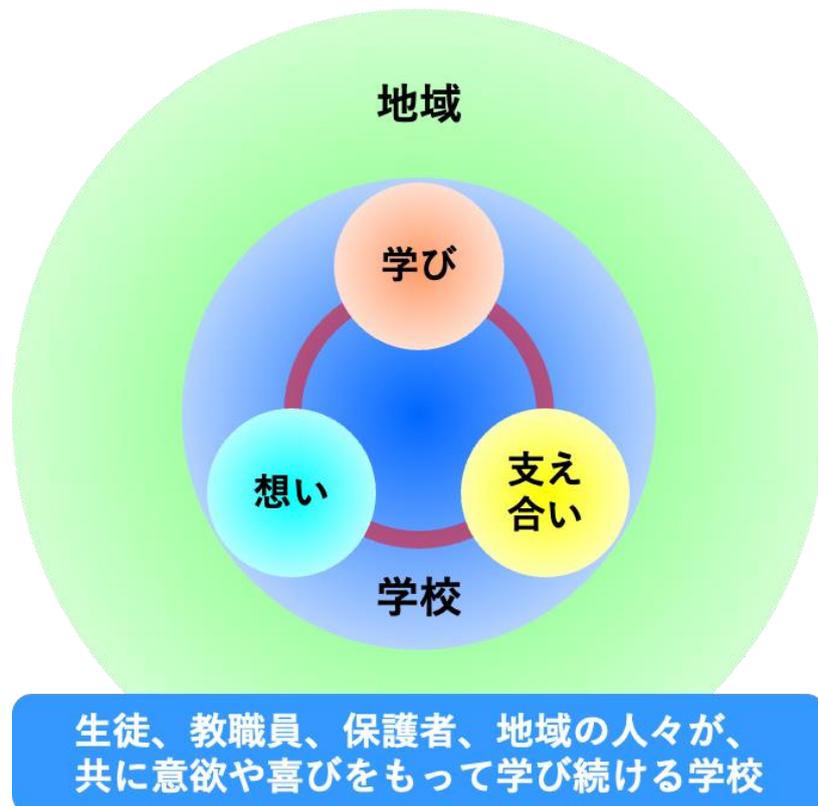
3 めざす生徒像

厚南中学校区（地域）の子ども像：『ふるさと厚南を愛し、進んで活躍できる子ども』

4 めざす教師像

- 人間尊重の精神に立ち、愛情をもって生徒の心を伸ばす教師
- 使命感と倫理観をもち、授業力の向上をめざして自己研鑽に励む教師
- 保護者や地域の願い・期待に応え、信頼される教師

5 めざす学校像（イメージ）



6 本年度の重点目標 ～生徒指導と集団づくりを土台として～

(1) 学力の向上

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進め、生徒の学ぶ意欲を喚起し、学び続ける生徒を育てる。
- 学力向上プランを実践し、授業研究を核とした校内研修を進め、学び合う教師集団を目指す。
- 読書活動を推進し、豊かな心と確かな学力の育成を図る。

(2) 人権教育の推進

- すべての教育活動を通じた人権教育を推進し、人権教育を図る物差しとして「言葉遣い」に目を向け、教師及び生徒が人権を大切にされた言葉遣いに努める。
- 特別支援学校との交流を推進し、共に生きる障がい者理解を核とした人権教育の深化を図る。
- いじめ防止基本方針に基づいた、いじめの早期発見・早期対応に努め、居場所のある学級づくり、集団づくりを行い、相手の立場になって考える共感力を育成する。

(3) 生徒指導の充実

- 積極的な生徒指導を推進し、生徒指導の3機能「自己決定の場」「自己存在感」「共感的人間関係」をいかした学校づくり、学級づくりを行う。
- 不登校生徒に対する支援を充実し、社会的に自立することをめざした継続的な支援を行う。
- 小中一貫教育を推進し、9年間を通じた生徒指導体制づくりをすすめる。

チャレンジ目標

先に挨拶 2分前着席 無言清掃 大きな声で歌う